

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法治療学 I - A(前半)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年		学期及び曜時限	前期 火曜1,2限目	教室名	機能訓練室
担 当 教 員	西河・春本・姜	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>実習と臨床に向けて解剖と疾患知識の確認を行った後に、学校の机上の勉強では学べない臨床の実際を少しでもイメージ出来る様、各疾患の患者様の現象を画像や動画を用いて動作分析の体験をする。治療前後の動画をみてもらい、臨床へのモチベーションに繋げる。実技練習も行い、臨床実習へつながる内容とする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	脊柱の評価と治療: 解剖・疾患知識・治療の実際	配布資料	基礎知識を予習・臨床的介入を復習	
		各コマにおける授業予定				
第2回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	脊柱の評価と治療: 解剖・疾患知識・治療の実際	配布資料	基礎知識を予習・臨床的介入を復習	
		各コマにおける授業予定				
第3回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	上肢骨折の評価と治療: 解剖・疾患知識・治療の実際	配布資料	基礎知識を予習・臨床的介入を復習	
		各コマにおける授業予定				
第4回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	上肢骨折の評価と治療: 解剖・疾患知識・治療の実際	配布資料	基礎知識を予習・臨床的介入を復習	
		各コマにおける授業予定				
第5回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	肩関節疾患の評価と治療: 解剖・疾患知識・治療の実際	配布資料	基礎知識を予習・臨床的介入を復習	
		各コマにおける授業予定				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義実習形式	授業を通じての到達目標		配布資料	基礎知識を予習・臨床的介入を復習
		各コマにおける授業予定	肩関節疾患の評価と治療：解剖・疾患知識・治療の実際		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標		配布資料	基礎知識を予習・臨床的介入を復習
		各コマにおける授業予定	変形性膝関節症(保存)に対する評価と治療の実際		
第8回	講義実習形式	授業を通じての到達目標		配布資料	基礎知識を予習・臨床的介入を復習
		各コマにおける授業予定	変形性膝関節症(保存)に対する評価と治療の実際		
第9回	講義実習形式	授業を通じての到達目標		配布資料	基礎知識を予習・臨床的介入を復習
		各コマにおける授業予定	変形性膝関節症(TKA術後)に対する評価と治療の実際		
第10回	講義実習形式	授業を通じての到達目標		配布資料	基礎知識を予習・臨床的介入を復習
		各コマにおける授業予定	変形性膝関節症(TKA術後)に対する評価と治療の実際		
第11回	講義実習形式	授業を通じての到達目標		配布資料	基礎知識を予習・臨床的介入を復習
		各コマにおける授業予定	下肢骨折の評価と治療：解剖・疾患知識・治療の実際		
第12回	講義実習形式	授業を通じての到達目標		配布資料	基礎知識を予習・臨床的介入を復習
		各コマにおける授業予定	下肢骨折の評価と治療：解剖・疾患知識・治療の実際		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標		配布資料	基礎知識を予習・臨床的介入を復習
		各コマにおける授業予定	骨格筋の微細構造と筋収縮機序・筋感覚・疼痛症候の観察と解釈		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標		配布資料	基礎知識を予習・臨床的介入を復習
		各コマにおける授業予定	輸送の問題における感覚障害・物質交換の問題における感覚障害		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標		配布資料	基礎知識を予習・臨床的介入を復習
		各コマにおける授業予定	筋力低下と可動域制限・ウィメンズ&メンズヘルス・姿勢・運動制御		